

取扱説明書

《特記事項》

(1) 車種によっては、サイズ制限内であっても入庫できない場合がございます。

そのため本駐車場では、契約前の試し入庫を必須といたします。

必ず事前に試し入庫を行ってからご利用を開始してください。

事前の試し入れを行わず、契約後に駐車不可が判明した場合、
補償等には一切応じませんので、予めご了承ください。

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

以上

ご利用に際してのご案内

株式会社パークジャパン

パークジャパン京橋タワー第1駐車場は、「三井ガーデンホテル京橋」建物付帯の機械式の駐車場になっております。

機械式駐車場乗入口扉の右側にある運転盤のフタを開け、中のタッチパネルを操作し、入出庫していただきます。

なお、詳しい操作方法については取扱説明書がございますので、ご確認の程、よろしくをお願いします。

① ご利用に際しての注意事項

- ・ 月に1回、機械式駐車場設備の点検があります。

点検中も入出庫は可能です。(2~3分お待ちいただく場合があります。)

- ・ 年に1回、電気関係の法令点検があります。

点検当日は11時から17時まで停電するためご利用できません。(※毎年の点検日時は事前に現地に告知等でご連絡いたします。)

- ・ 機械式駐車場内の入出庫時、扉を閉め、「終了扉閉ボタン」を必ず押して、扉を閉めて下さい。(※年に数回発生しています、お忘れのないようご注意願います!)

閉め忘れますと5分後にアラームが鳴りその後の利用者をご利用できなくなりますので、必ず下記の緊急連絡先にご連絡下さい。

機械のトラブルなど緊急時は下記連絡先にご連絡をお願いします。

※緊急連絡先

新明和工業株式会社 0120-4951-24 (24時間365日対応)

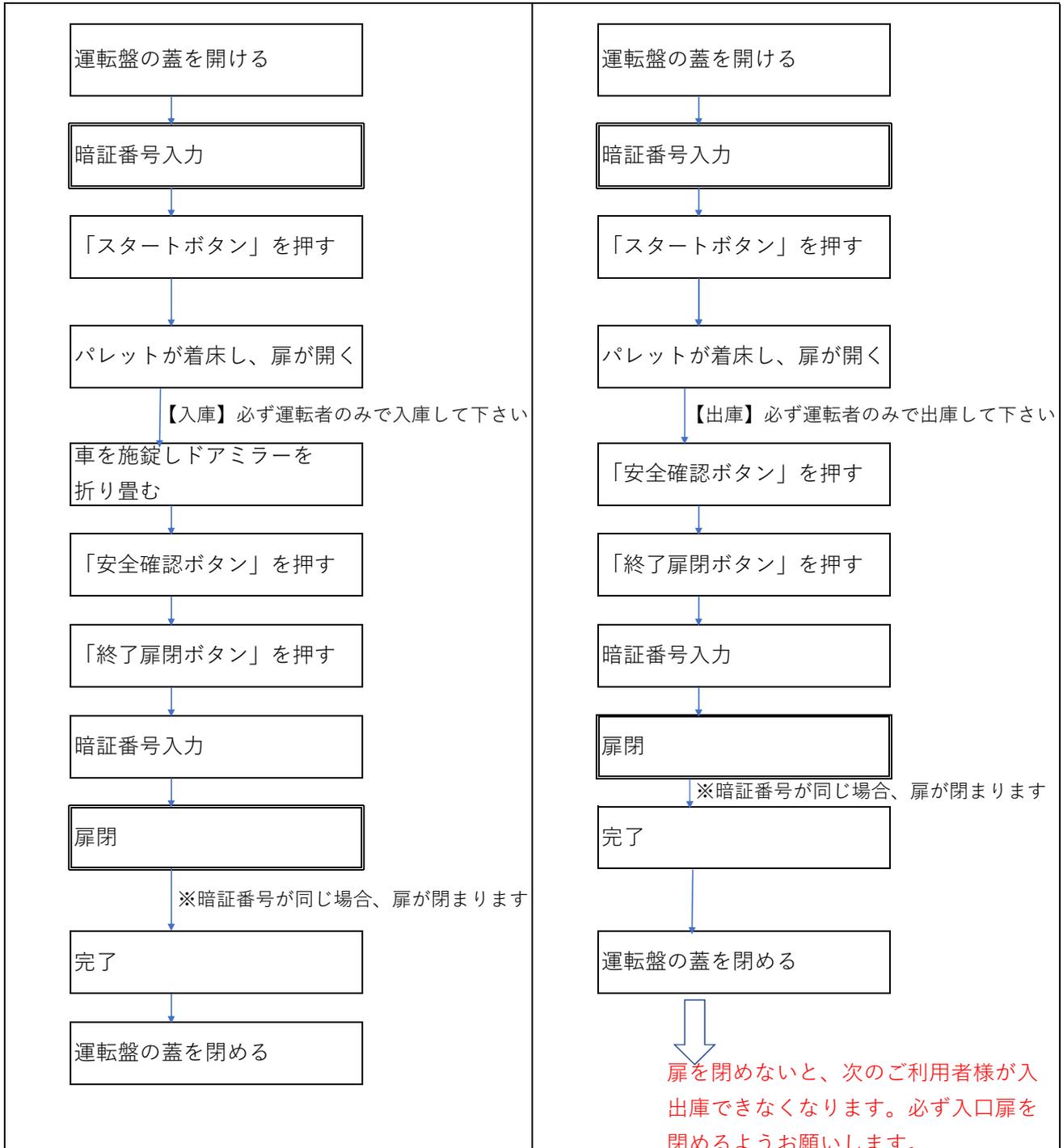
ご連絡から現場到着までお時間を要します。(30分から交通事情で1時間が目安)

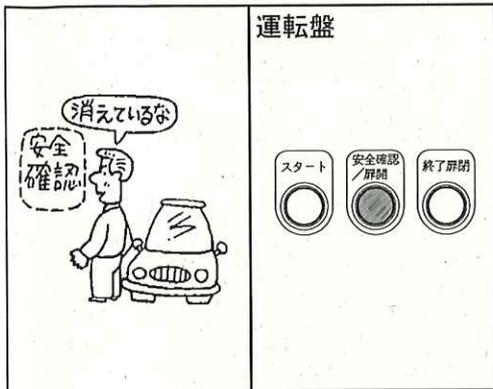
以上

操作方法 早見表

入庫時

出庫時

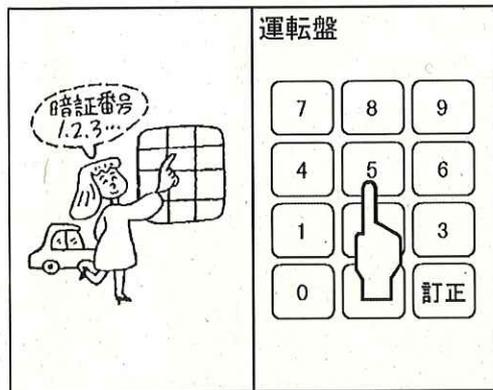




1 安全の確認

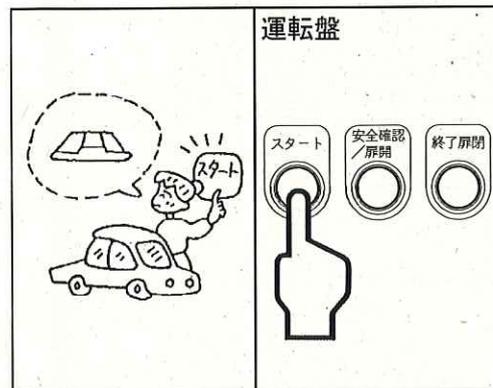
危険

運転盤の「安全確認/扉閉ボタン」が消灯していることを確認してください。点灯又は点滅している場合は、管理者の方に連絡してください。通常は扉が閉まっています。



2 暗証番号を入力する

暗証番号(4ケタ)を運転盤のテンキーで入力してください。
●入力した番号は表示されません。

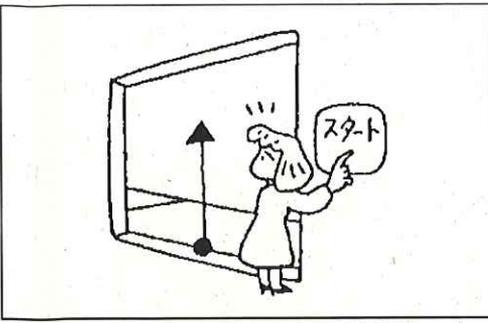


3 「スタート」を押す

暗証番号を入力したら、運転盤の「スタートボタン」を押してください。最短時間で到着する空パレットが呼出されます。

4 パレット到着

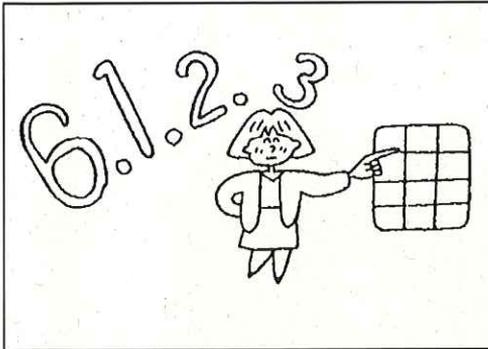
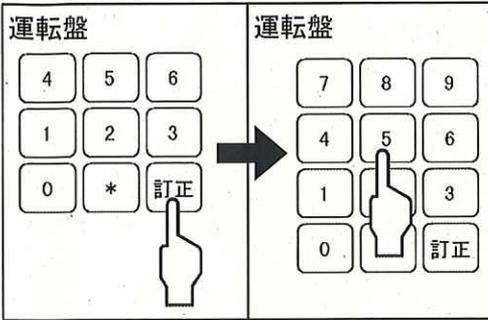
「スタートボタン」を押すと、起動ブザーが約2秒鳴った後、駐車設備の運転が始まり、パレットが到着すると扉が自動的に開きます。



暗証番号の訂正

「スタートボタン」を押す前の訂正

暗証番号を押し間違えたときは、「訂正ボタン」を押して正しい番号を入力するか、または続けて正規の番号をテンキーから入力すれば訂正できます。



- ただし、3ケタの間違い、例えば「1. 2. 3」と入力すべきところを「4. 5. 6」と押してしまい、続けてテンキーから入力訂正する場合は、「1. 2. 3」と押すと、表示は「6. 1. 2. 3」になってしまいます。必ず、「1. 2. 3」と押してください。

「スタートボタン」を押した後の訂正

正規の暗証番号以外の番号で「*ボタン」を押した場合、誤操作を示す警報ブザーが鳴り、最初の状態に戻ります。この場合はもう一度、最初から操作をやり直してください。

- 5回以上連続して正規の番号登録がされないときには、番号登録の受付を停止するとともに、ブザーが鳴り、警報を出します。但し、この警報は一定時間経過しますと、自動的に鳴り止みます。



入庫前のドライバーの注意事項

同乗者の扱い



警告

ドライバー以外の方の方は、車を入庫する前に下車し、車のドアおよびリヤドアは確実に閉めてください。

- ドアが確実に閉まっていないと、駐車設備の運転中にドアが開き、車および駐車設備を破損する事故につながります。



荷物の積み降ろし



警告

荷物の積み降ろしは、車を入庫する前にすませてください。

- 駐車室内での荷物の積み降ろし作業は、荷物の置き忘れから、駐車設備運転中に荷物の落下等で、車および駐車設備を破損する事故につながります。また、高さ制限検知装置が作動し、駐車設備の運転ができなくなる可能性があります。



アンテナの扱い



警告

車のアンテナは、入庫する前に最後まで収納してください。

- アンテナを立てたまま入庫しますと、駐車設備と接触し、アンテナを破損する恐れがあります。



ヘッドライトの扱い



注意

車のヘッドライトは、入庫する前に消灯してください。

- ヘッドライトを点灯させたまま入庫しますと、光電センサがヘッドライトの光に反応して誤作動を起こし、入庫ができなくなる可能性があります。



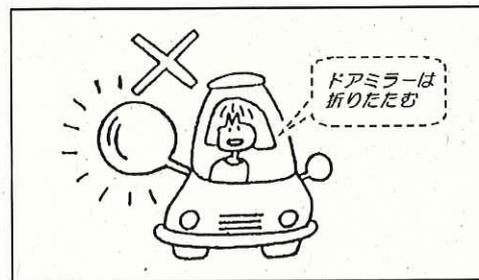
ドアミラーの扱い



警告

ドアミラーの付いた車は、入庫前に必ずミラーを折りたたみ入庫してください。

- ドアミラーを折りたたまないまま入庫すると、駐車設備の運転途中に安全センサが作動し、駐車設備が停止して、以降の運転ができなくなる場合があります。(ドアミラーを折りたためない車も同様です。)
- この場合、ドアミラーを折りたたむ、もしくは車を移動しなければ以降の運転ができないため、管理人、保守点検員または次の利用者により、ドアミラーを強制的に折りたたませていただく場合があります。
- 強制的にドアミラーを折りたたみ、万が一破損した場合でも責任は負いかねますので、入庫する際には必ずドアミラーを折りたたんでください。



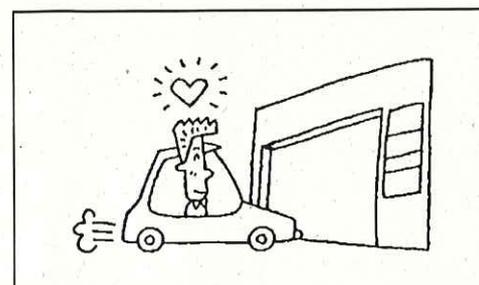
駐車室内への進入



警告

出入口の扉が完全に開いたことを確認した後、車を前進でゆっくり(時速5キロ以下厳守)入庫してください。

- あわてて入庫しようとしますと、正しい位置に車が止まらず、車および駐車設備の破損、人身事故につながります。



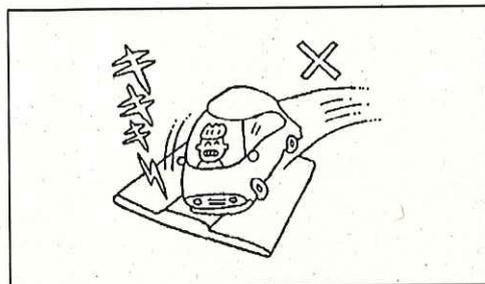
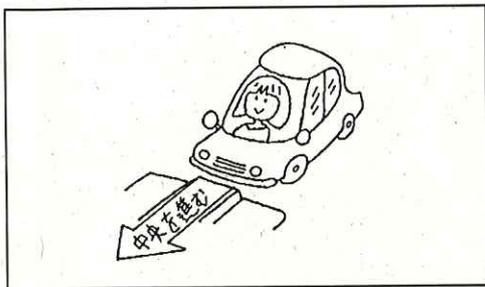
駐車室内でのドライバーの注意事項

パレット上での走行



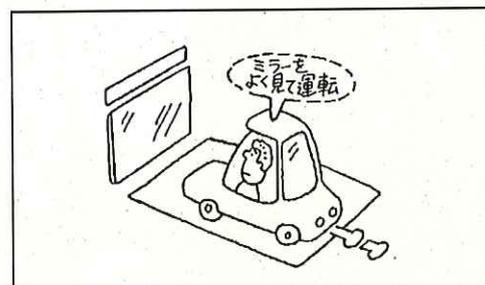
車はパレットの立ち面でタイヤなどを傷つけないように、パレットの中央を進み停車してください。また、パレット上での急発車や急停車はしないでください。

- パレット上での急発車や急停車は、車および駐車設備を破損する事故につながる恐れがあります。
- パレットの立ち面にタイヤを接触させると、タイヤおよびホイールに傷が付く恐れがあります。



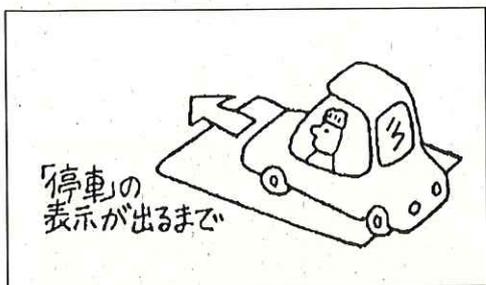
停車のしかた

パレットの上では、前面のミラーを見ながら運転し、同時に「自動車位置案内灯」の表示をよく見て、「停車」が点灯する位置まで、ゆっくり車を進めてください。

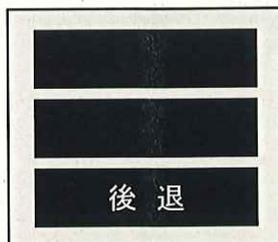
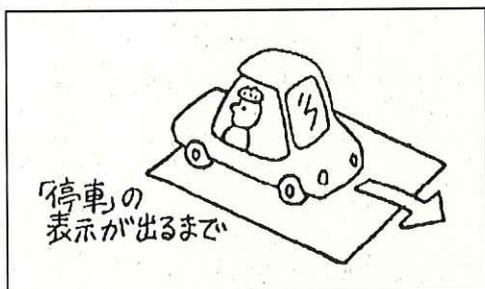


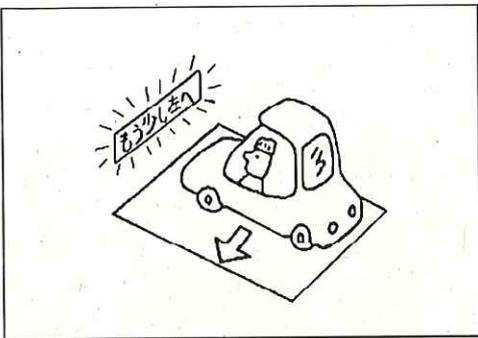
前後調整のしかた

車が停車位置に達しない間は、案内灯に「前進」の表示が出ます。
その場合、「停車」の表示が出るまでゆっくり車を前進してください。



また、車が前へ進み過ぎたときは、案内灯に「後退」の表示が出ます。
その場合、「停車」の表示が出るまでゆっくり車を後退させてください。





左右案内灯：フラットパレット(バリアフリー対応)の場合のみ

車がパレットの左右どちらかに片寄りすぎて入庫したときは案内灯に「もう少し右へ」あるいは「もう少し左へ」の表示が出ます。車を少し後退させて再び前進しながら案内灯で指示する側へ寄せてください。

- ドアミラーは必ず入庫前に折りたたんでください。

車が右側へ寄りすぎたとき



車が左側へ寄りすぎたとき



暗証番号を入力せずに車を入庫しようとしたとき

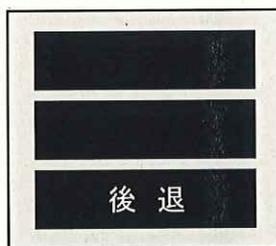


警告

迷子車防止機能

出庫の際に自分の車が呼び出せなくなるのを防ぐための機能です。前の利用者が駐車室の扉を閉め忘れ、放置された状態でそのまま入庫しますと「この車は入庫できません。一旦お車を退出させ、パレットを呼び直してください。」の音声案内放送とともに「後退」が点滅します。この場合は一旦車を出庫させ、駐車室の扉を閉めた上で改めて暗証番号の入力操作からはじめてください。

- 駐車場より車を出庫させた後に、再入庫を行なった場合でも迷子車防止機能が働きますのでご注意ください。



高さ制限以上の車が入庫しようとしたとき

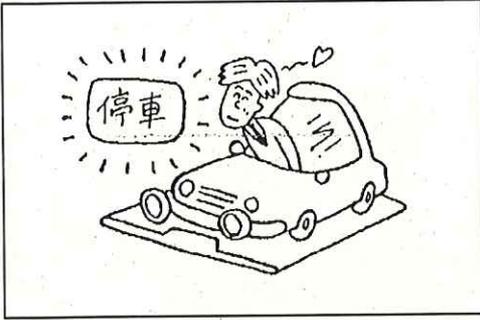


警告

高さ制限装置

高さ制限以上の車が入庫しようとしたときは、案内灯に「後退」が点灯するとともに「車高オーバーです。お車を退出させてください。」の音声案内を放送します。この場合、入庫できませんので車を駐車設備の外へ出してください。





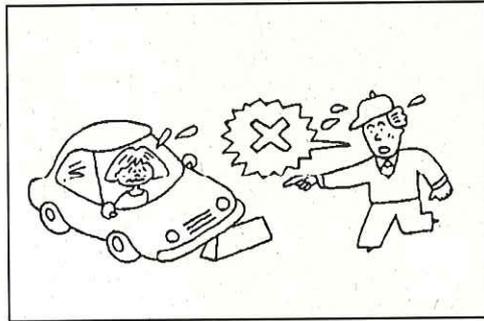
フロントおよびリヤにパーツをつけた車の場合

警告

車長及びスミキリ制限は光電センサで行っていますが、下記のような場合は検出できず、車長制限を超えていても「停車」の表示が出ることもあり、車や設備を破損する恐れがあります。

- バンパーにゴム等のガードを取付けている
- フォグランプが飛び出している
- スペアタイヤが飛び出している
- リヤアンダーミラーが飛び出している
- エアロパーツが飛び出している
- ナンバープレートがバンパーより前に飛び出している

事前に19、20ページ『入庫車に関する安全取り扱い重要事項』を確認ください。



車止めについて

警告

パレットには車止めがついていますが、これは停車位置の目安にすぎません。正しくは、案内灯の「停車」の表示に従ってください。

- 車止めにタイヤを乗り上げたまま駐車しないでください。
車のバランスが不安定になり、駐車設備運転中に車および駐車設備を破損する事故につながります。



ブレーキを掛ける

警告

標準仕様の場合

必ずパーキングブレーキをしっかりと掛けてください。またギヤは「バック」にしておいてください。

(オートマチック車の場合は必ず「P」にしておいてください。)



ギヤを「バック」または「P」に入れる

警告

寒冷地仕様の場合

寒冷地仕様の場合は、パーキングブレーキを掛けず、ギヤを「バック」にしておいてください。

(オートマチック車の場合は必ず「P」にしておいてください。)

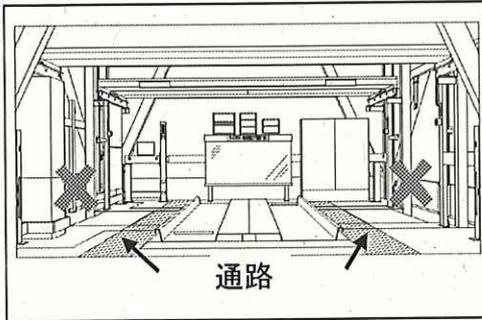


ドアは必ず閉める



車から降りるときは、車のすべてのドア（乗降ドア、リヤドア、トランクドア）を確実に閉めてください。
閉め忘れますと運転中にドアが開き、設備と接触し、車が破損したり大事故を起こす危険があります。

- 特に上方に開くドア、横引きドアについては、車ドアはみ出し防止装置を装備した駐車設備でも、半ドアまたはドア開状態の検出ができませんのでご注意ください。



すみやかに入退場する



入庫時、出庫時とも指定通路を通りすみやかに入退場願います。
ライン等で通路指示のない場合、指定通路はパレットに平行した左図範囲（0.5m幅）を基本とし立入り禁止表示部、左図範囲から大きく離れた場所への立入りはしないで下さい。

バリアフリー仕様がある場合の指定通路は21ページ「駐車場内の乗降スペース及び通路スペース」をご参照ください。

- 駐車室内の歩行は足元および頭上に十分注意してください。

非常用脱出口

非常用脱出口は非常時以外使用しない



ドライバーが駐車室に入入りするときは、車の入出庫と同様の出入口をご利用ください。

- 非常用脱出口は駐車室内に閉じこめられた時などの非常時以外、絶対に使用しないでください。

（自動非常停止システムが働いて、設備の運転ができなくなります。）

- 非常用脱出口付近は少し狭くなっていますので、足元および頭上に十分注意してください。

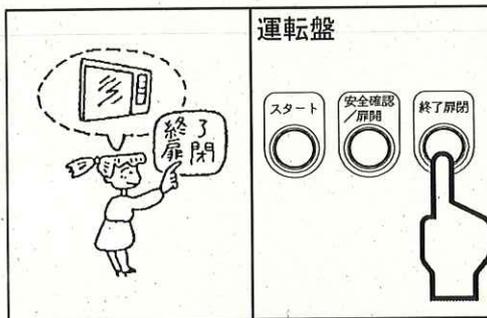
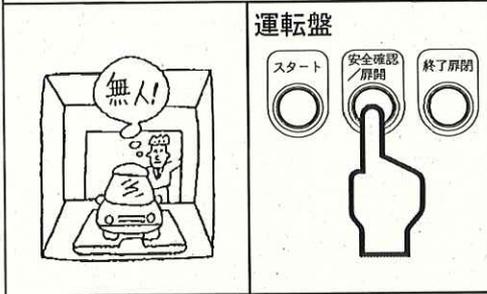
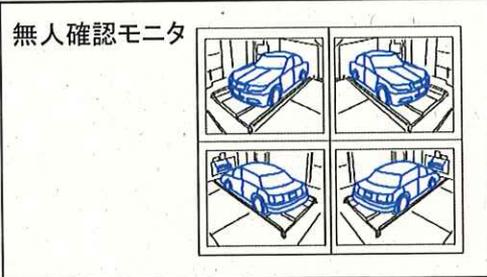


駐車室を出るとき

1 駐車室内の安全確認

 危険

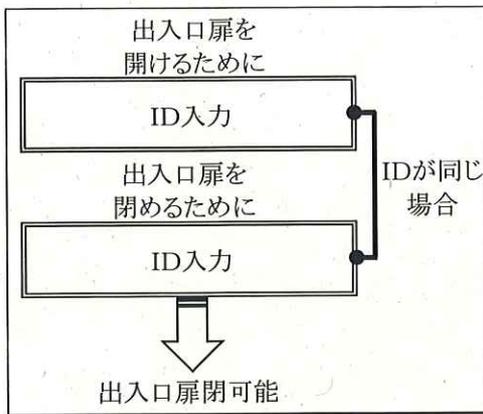
人が駐車室内および車内にいないことと周囲の安全および、扉部に障害物がないことを無人確認モニタと目視で確認してから運転盤の「安全確認／扉開ボタン」を押してください。



2 「終了扉閉」を押す

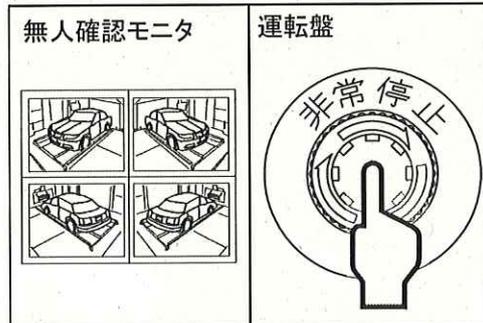
運転盤の「終了扉閉ボタン」が点滅します。「終了扉閉ボタン」を押してください。

3 駐車室の扉閉め（暗証番号を入力する）



扉を開けるために入力した暗証番号(4ケタ)を運転盤のテンキーで入力して、扉を閉めてください。

- 扉を開けたままにしておきますとブザーが鳴り、警報を出します。警報を止めるには扉を「閉」にしなければなりません。入庫、出庫を問わず出入口の扉を閉めるまでの一連の動作が正常に終了しない限り、次の利用者が操作を行う事ができません。
- 出入口扉を開けるために入力したID(暗証番号)と扉を閉める前に入力されたID(暗証番号)の照合を行い、同じID(暗証番号)であれば出入口扉が閉まります。
- 万が一、出入口扉を閉め忘れますと次に利用する方では扉を閉めることができないため、他の利用者にご迷惑をお掛けすることになります。必ず、入庫または出庫した後は出入口扉を閉めてください。



扉を閉めた後も駐車室内に人がいないことを無人確認モニタで確認してください。

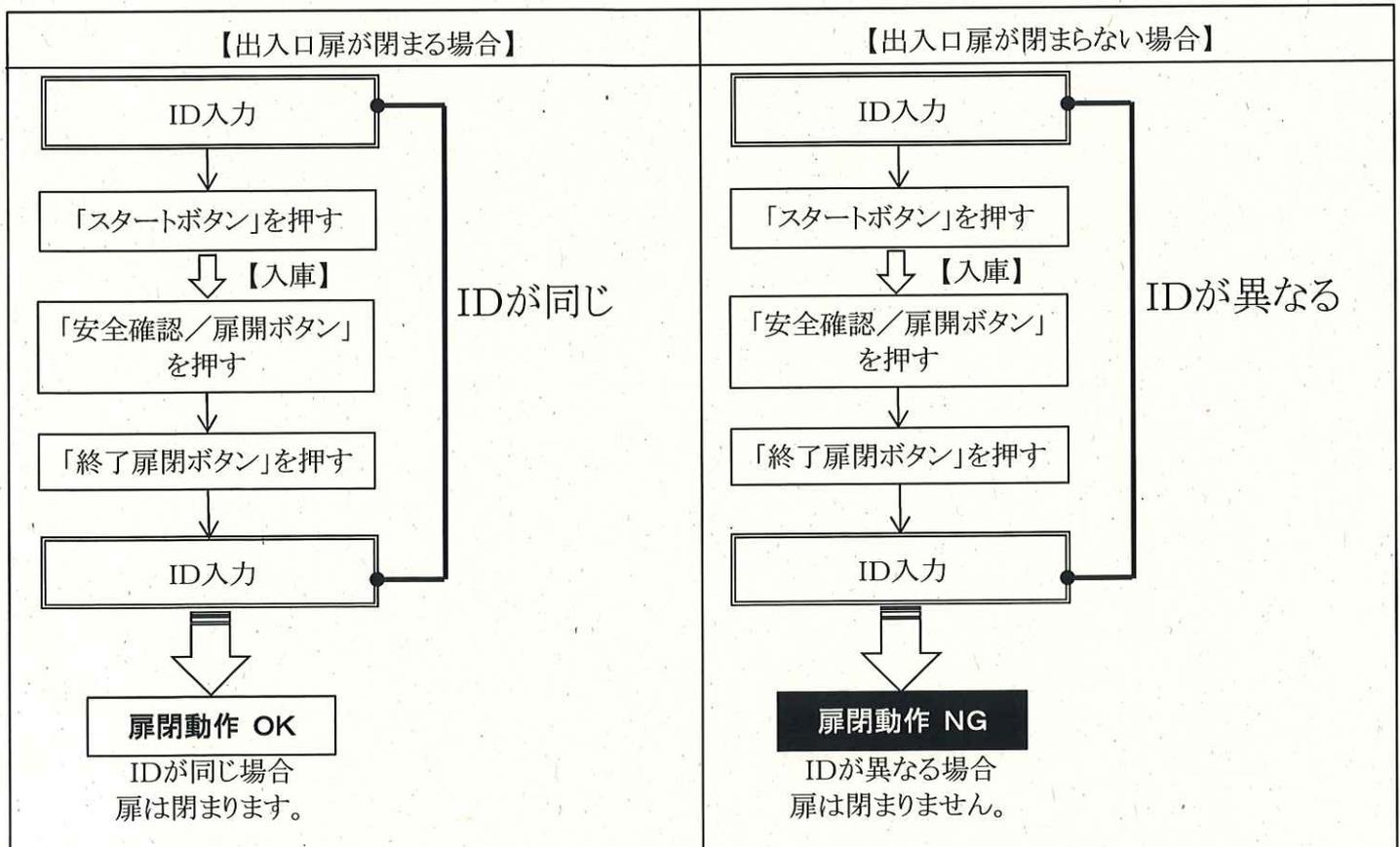
- 扉が閉まった後、無人確認モニタで駐車室内に人を確認した場合、運転盤の「非常スイッチ」を押しますと設備の動作は直ちに停止します。
- 運転盤扉は、無人確認モニタで駐車室内の無人、安全を確認した後に閉めてください。

【重要】

出入口扉を開けるために入力したID(暗証番号)と扉を閉める前に入力されたID(暗証番号)の照合を行い、同じID(暗証番号)であれば出入口扉が閉まります。

- 万が一、出入口扉を閉め忘れますと次に利用する方では扉を閉めることができないため、他の利用者にご迷惑をお掛けすることになります。必ず、入庫または出庫した後は出入口扉を閉めてください。

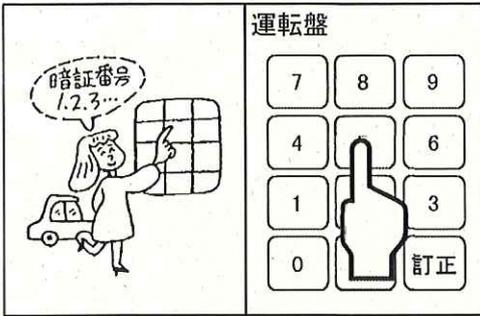
例)入庫するときの操作フロー:運転管理スイッチが「通常」の場合



出庫操作のしかた

1 暗証番号を入力する

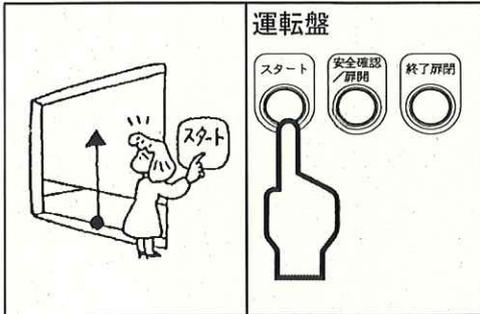
暗証番号(4ケタ)を運転盤のテンキーで入力してください。



2 「スタート」を押す

次に「スタートボタン」を押してください。

駐車設備の運転が始まり、呼出したパレットが出入口に到着し、自動的に扉が開きます。



3 出庫させる



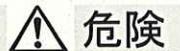
警告

出入口の扉が完全に開いたことを確認した後、ドライバーが駐車室内に入り、車をゆっくり(時速5キロ以下厳守)出庫してください。

- 閉まる扉にあたらぬ位置まで車を出してください。
- ハンドルは後輪がパレットの外に出てから操作してください。後輪がパレット上にある位置でハンドル操作を行なうと、パレットの側面や端部にタイヤやホイールが接触し、破損する恐れがあります。



4 同乗者は入口の前で待機する

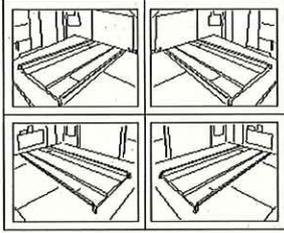


危険

出庫のとき、駐車室内に入るのはドライバーだけにし、同乗者の方は出入口の外で待機してください。また、荷物も出入口の外で積み降ろしてください。



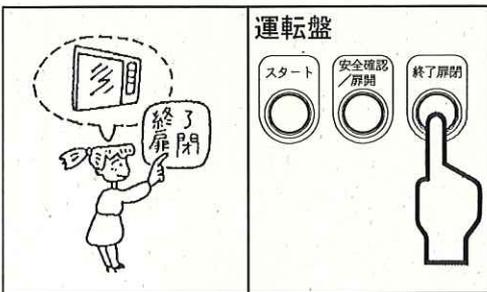
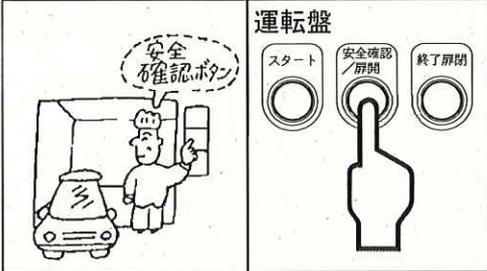
無人確認モニタ



5 「安全確認／扉開」を押す

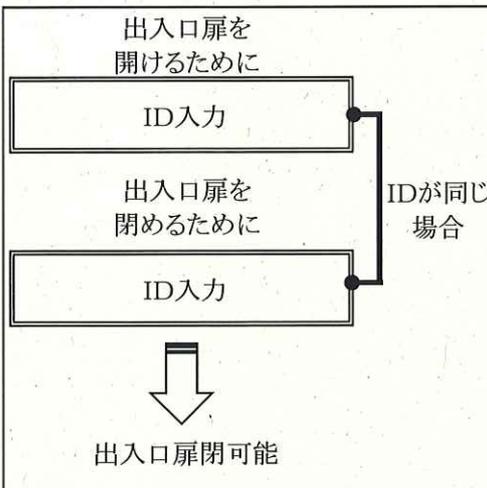
⚠ 危険

駐車室内に人がいないことと周囲の安全および、扉部に障害物がないことを無人確認モニタと目視で確認してから、運転盤の「安全確認／扉開ボタン」を押してください。運転ロックが解除されます。



6 「終了扉閉」を押す

運転盤の「終了扉閉ボタン」が点滅します。「終了扉閉ボタン」を押してください。



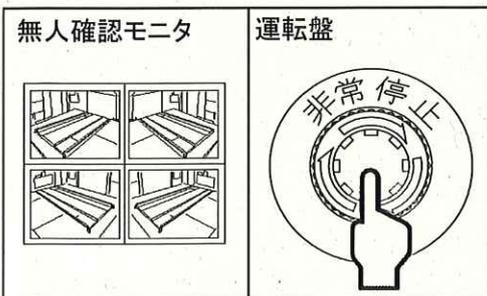
7 駐車室の扉閉め（暗証番号を入力する）

⚠ 危険

扉を開けるために入力した暗証番号(4ケタ)を運転盤のテンキーで入力して、扉を閉めてください。

- 扉を開けたままにしておきますとブザーが鳴り、警報を出します。警報を止めるには扉を「閉」にしなければなりません。入庫、出庫を問わず出入口の扉を閉めるまでの一連の動作が正常に終了しない限り、次の利用者が操作を行う事ができません。
- 出入口扉を開けるために入力したID(暗証番号)と扉を閉める前に入力されたID(暗証番号)の照合を行い、同じID(暗証番号)であれば出入口扉が閉まります。
- 万が一、出入口扉を閉め忘れますと次に利用する方では扉を閉めることができないため、他の利用者にご迷惑をお掛けすることになります。必ず、入庫または出庫した後は出入口扉を閉めてください。

●「運転管理スイッチ」が「通常」での操作の場合、扉が開いたままの空きパレットに次の利用者の方が入庫すると、「この車は入庫できません。一旦お車を退出させ、パレットを呼び直してください。」の音声案内放送とともに「後退」が点滅します。この場合、入庫はできません。一旦車を退出させた後に、駐車室の扉を閉めてもう一度暗証番号の入力からはじめてください。



扉を閉めた後も駐車室内に人がいないことを無人確認モニタで確認してください。

- 扉が閉まった後、無人確認モニタで駐車室内に人を確認した場合、運転盤の「非常スイッチ」を押しますと設備の動作は直ちに停止します。
- 運転盤扉は、無人確認モニタで駐車室内の無人、安全を確認した後に閉めてください。